

令和 元 年度

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1991700046	
法人名	(株)イーエルイー	
事業所名	グループホーム カーサ西八幡	
所在地	山梨県甲斐市西八幡1707-1	
自己評価作成日	令和元年9月20日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/19/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会	
所在地	甲府市北新1-2-12	
訪問調査日	令和元年10月8日(火)	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>◎その人らしく暮らせるように、快適で家庭的な生活をサポートします。 ◎心を込めた親切的なサービスに努め、その心を磨き続けます。 ◎さまざまな機会を通じ、地域の人々とのふれあいを大切にします。 3つの【理念】を念頭に置きながら、認知症のご入居者様がマイペースに、自分らしく生活ができるように職員は支援している。日々の散歩や外出レクなど、施設にこもるのではなく、なるべく外へ出る機会を作り、体を動かす事も実施している。また、ご本人様やご家族様の希望により在宅医や訪問看護とも連携を取りながら看取りやご入居者様の健康管理もやっている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は木造2階建ての建物で、1階と2階の2ユニットである。公園に隣接していて、周辺には医療を核としたメディカルタウンがあり、整形外科や皮膚科等専門の病院がある。また、田畑や民家、主要道路沿いには、スーパーや飲食店、大型商業施設、幼稚園、小学校等恵まれた環境にある。理念にもあるその人らしく暮らせるように、日頃から利用者一人ひとりに合わせた支援を心がけている。屋内に閉じこもることの無いよう、短時間でも戸外に出る機会を作り、車いすの利用者や職員の気分転換にもつなげている。また、毎月家族等に利用者の生活の様子を手紙に書いて送り、家族との繋がりも大切にして、日々の支援に努めている。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

（様式1）

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム カーサ西八幡**

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価（実践状況）		外部評価	
			ユニット名（けやき）	ユニット名（さくら）	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各職員に、理念に基づいた支援ができるよう、意識の共有を図るようにしている。	各職員に、理念に基づいた支援ができるよう、意識の共有を図るようにしている。	・その人らしく心をこめた支援・地域の人々とふれあいを大切に根幹とした事業所理念がある。フロアや事務所内に掲示して意識づけがされている。また、毎月のフロア会議に職員と話し合いの機会を持ち、利用者一人ひとりに対して理念がケアに反映しているか確認して実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	地域の自治会活動である防災訓練や各種イベントに声を掛けて頂き入居者や職員が参加して交流している。	地域の自治会活動である防災訓練や各種イベントに声を掛けて頂き入居者や職員が参加して交流している。	自治会に加入している。自治会長から公民館行事への誘いがあり、利用者と一緒に参加して地域の人々との関りをもつようになっている。日常的に散歩している公園では、地域の人と挨拶を交わしている。地域の防災訓練を事業所の駐車場で行い、訓練の時には利用者も地域の一員として見学している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	民生委員の方を通じて地域の高齢者や認知症の方を介護しているご家族様の悩みや不安などの力になれるように連携している。	民生委員の方を通じて地域の高齢者や認知症の方を介護しているご家族様の悩みや不安などの力になれるように連携している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	甲斐市役所担当者や民生委員、ご家族様、ご入居者様、職員で2ヶ月に1回開催している。運営推進会議で意見はすぐフロアの職員に伝え共有し改善するべき所は改善し、より良い支援に繋げている。	甲斐市役所担当者や民生委員、ご家族様、ご入居者様、職員で2ヶ月に1回開催している。運営推進会議で意見はすぐフロアの職員に伝え共有し改善するべき所は改善し、より良い支援に繋げている。	2か月に1回、会議を開催している。地域代表者の欠員により市担当者からのアドバイスで自治会長、民生委員が新たにメンバーに加わり、事業所からの報告と共に参加者から意見、要望を出してもいい、家族からの要望で会議の開催日を決めたり、行事に家族の参加を呼び掛ける等意見を反映させている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	困った事があれば運営推進会議に出席している甲斐市役所担当者に相談している。また、直接市役所に行き相談している。	困った事があれば運営推進会議に出席している甲斐市役所担当者に相談している。また、直接市役所に行き相談している。	介護認定更新時などに事業所の実情等伝えている。困難な事案があり、担当者に相談して問題解決に向けて一緒に取り組むなど連携が図られている。また、事故報告などその都度向うに届けている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を2ヶ月に1回行っており職員と話し合っている。委員会で出た意見は必ずフロア会議や運営推進会議などで報告して共有している。	身体拘束廃止委員会を2ヶ月に1回行っており職員と話し合っている。委員会で出た意見は必ずフロア会議や運営推進会議などで報告して共有している。	事業所独自の身体拘束廃止委員会があり2か月に1回開催し、当番制で全職員が参加できるようになっている。フロア会議や運営推進会議で報告し、身体拘束についての共有認識を図っている。利用者の行動を制限する言葉遣いは、気づいたときや面談時に話をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	フロア会議で虐待防止の研修を適宜行い虐待防止に努めている。また、職員へのストレス軽減も考慮した対話を心掛けている。	フロア会議で虐待防止の研修を適宜行い虐待防止に努めている。また、職員へのストレス軽減も考慮した対話を心掛けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度については、研修の機会があれば是非参加をして職員と共に知識を深め活用できるようにしていきたいと思っています。	成年後見人制度については、研修の機会があれば是非参加をして職員と共に知識を深め活用できるようにしていきたいと思っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には十分に時間をとり、ご入居者様、ご利用者様が納得いただくまで説明をしている。入居された後も不明な点があればその都度答えるようにしている。	契約の際には十分に時間をとり、ご入居者様、ご利用者様が納得いただくまで説明をしている。入居された後も不明な点があればその都度答えるようにしている。		

（様式1）

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム カーサ西八幡**

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価 (実践状況)		外部評価	
			ユニット名(けやき)	ユニット名(さくら)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃からご入居者様やご家族様とは意見交換しやすい関係ができており、何気ない会話からも意見を聞き取り改善につなげるようにしている。また、定期的に運営推進会議を実施し、そこで出た意見を取り入れ、より良い支援につなげるようにしている。	日頃からご入居者様やご家族様とは意見交換しやすい関係ができており、何気ない会話からも意見を聞き取り改善につなげるようにしている。また、定期的に運営推進会議を実施し、そこで出た意見を取り入れ、より良い支援につなげるようにしている。	面会時に利用者の様子など話をしながら、家族等からさげなく聞くように心がけている。聞いたことは、気づきノートに記入し職員間で共有している。運営推進会議に家族も参加していて聞く機会もあり、出された意見、要望は会議等で話し合い、反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のフロアー会議などで、職員の意見を聞き運営に反映させるようにしている。	毎月のフロアー会議などで、職員の意見を聞き運営に反映させるようにしている。	管理者との個人面接を年2回実施している。日頃から職員とのコミュニケーションを大切にしている。勤務体制の改善や希望休等要望を聞き入れ、働く意欲の向上につながっている。日頃から関わりのある職員の意見から、身体状態に変化が生じた利用者のベットを2モーターから3モーターを提案して購入した。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人の社長、管理者等は各職員の良い面を把握し、より伸ばしていけるように声掛け・指導している。また、各職員の労働条件などを把握し働きやすい環境になるように心掛けている。	法人の社長、管理者等は各職員の良い面を把握し、より伸ばしていけるように声掛け・指導している。また、各職員の労働条件などを把握し働きやすい環境になるように心掛けている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	フロアー会議で必ず研修を行い知識を増やしている。また、グループホーム協会の研修にも参加している。	フロアー会議で必ず研修を行い知識を増やしている。また、グループホーム協会の研修にも参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人の施設と共同で外部から講師を招き研修会を開催している。また、他施設研修を行い他のグループホーム職員と交換研修も行っている。	同法人の施設と共同で外部から講師を招き研修会を開催している。また、他施設研修を行い他のグループホーム職員と交換研修も行っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居者様とは納得がいくまで話をし、不安感がないようにしたうえで、サービスの導入を行っている。	ご入居者様とは納得がいくまで話をし、不安感がないようにしたうえで、サービスの導入を行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様とは納得がいくまで話をし不安感がないようにしたうえでサービスの導入を行っている。また、ご入居者様の立場になり代弁者としてご家族様と支援の話し合いを行っている。	ご家族様とは納得がいくまで話をし不安感がないようにしたうえでサービスの導入を行っている。また、ご入居者様の立場になり代弁者としてご家族様と支援の話し合いを行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	納得がいくまで話し合いを行い、情報収集をし色々な方面からみて判断し必要があれば他のサービス利用も検討しながら、施設での生活が快適に行えるように支援している。	納得がいくまで話し合いを行い、情報収集をし色々な方面からみて判断し必要があれば他のサービス利用も検討しながら、施設での生活が快適に行えるように支援している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	グループホームは生活の場であって、職員は家族のような存在であるという気持ちを持つようになっている。よって、家族のように温かい気持ちでご入居者様に接することができ、ご入居者様も楽しく生活ができていると思う。	グループホームは生活の場であって、職員は家族のような存在であるという気持ちを持つようになっている。よって、家族のように温かい気持ちでご入居者様に接することができ、ご入居者様も楽しく生活ができていると思う。		

（様式1）

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム カーサ西八幡**

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価 (実践状況)		外部評価	
			ユニット名 (けやき)	ユニット名 (さくら)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様には入居時に面会が自由にでき、入居者様も心待ちにしている方が多い事をお話している。ご家族様も頻りに面会に来ることが多く、その都度様子などを伝えることができ、施設だけではなくご家族様も協力して介護に携わっていると意識されている方が多いように思う。	ご家族様には入居時に面会が自由にでき、入居者様も心待ちにしている方が多い事をお話している。ご家族様も頻りに面会に来ることが多く、その都度様子などを伝えることができ、施設だけではなくご家族様も協力して介護に携わっていると意識されている方が多いように思う。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の方の入居もある為ご友人が面会に来られ居室やフロアで談笑されていることもある。	地域の方の入居もある為ご友人が面会に来られ居室やフロアで談笑されていることもある。	家族の了解を得て、事業所で送迎して友人に会いに行ったり、入居前、一緒に活動していた同級生の人達が会合の後、定期的に訪れ交流をしている。また、以前から利用していた美容院やお墓参りは家族と協力して出掛けている。人や場所との関係が継続できるよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご入居者様同士で会話が成立することが難しい場面も多いので、職員が間に入りスムーズに会話ができるようにしている。	ご入居者様同士で会話が成立することが難しい場面も多いので、職員が間に入りスムーズに会話ができるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も必要があれば相談、支援に応じている。	サービス終了後も必要があれば相談、支援に応じている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	まずはご本人に聞いて可能な限り希望に添えるようにしている。ご本人様が言えない場合はこれまでの生活歴やご家族様に意見を聞き情報収集をしてご本人様の希望に添えるような支援を心がけている。	まずはご本人に聞いて可能な限り希望に添えるようにしている。ご本人様が言えない場合はこれまでの生活歴やご家族様に意見を聞き情報収集をしてご本人様の希望に添えるような支援を心がけている。	入居時に本人、家族等から思いや意向を聞いて情報を得ている。本人の希望から入居前に利用していたデイサービスの機能訓練を続けていたり、芝居を見るのが好きな利用者は、家族の協力で出掛けている。また、日々の関りの中で声を掛け、どのように暮らしたいのか思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴、家族関係、趣味など情報収集を行い、家にいた時と同じような生活が継続して施設でもできるようにしている。	これまでの生活歴、家族関係、趣味など情報収集を行い、家にいた時と同じような生活が継続して施設でもできるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事と入浴以外にはあまり細かい決まりを作らず、マイペースに生活ができるようにしている。	食事と入浴以外にはあまり細かい決まりを作らず、マイペースに生活ができるようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のフロア会議で各ご入居者様のカンファレンスを行っている。また、ご家族様にも意見を伺い介護計画に反映させている。	月1回のフロア会議で各ご入居者様のカンファレンスを行っている。また、ご家族様にも意見を伺い介護計画に反映させている。	入居時に利用者、家族の生活に対する意向を聞き、暫定プランを作成し、モニタリング、カンファレンスを行い、長期、短期チェックシートを基にフロア会議で話し合い、月1回家族に手紙で様子を伝え、6か月で見直しを行っている。変化が生じた場合は、モニタリングに基づき介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々に支援経過を書いており、簡潔に様子が分かるように記録し、どの職員が見ても分かるようにしている。また、全体の介護記録や引き継ぎノート・気づきノートがあり、情報の共有を図るようにしている。	個々に支援経過を書いており、簡潔に様子が分かるように記録し、どの職員が見ても分かるようにしている。また、全体の介護記録や引き継ぎノート・気づきノートがあり、情報の共有を図るようにしている。		

（様式1）

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム カーサ西八幡**

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(けやき)	ユニット名(さくら)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズ に対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟 な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その都度のニーズには、ご家族様とも相談しながら柔軟に対応するようにしている。	その都度のニーズには、ご家族様とも相談しながら柔軟に対応するようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の方々とは日々の散歩時に挨拶やお話をしたり、近所のお店を利用したり顔なじみの関係でいられるように努めている。	近隣の方々とは日々の散歩時に挨拶やお話をしたり、近所のお店を利用したり顔なじみの関係でいられるように努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本はご家族様対応をお願いしているが、ご家族様が対応できない時は施設対応で受診している。また、通院が困難なご入居者様は在宅医にお願いしている。	基本はご家族様対応をお願いしているが、ご家族様が対応できない時は施設対応で受診している。また、通院が困難なご入居者様は在宅医にお願いしている。	定期受診は利用者、家族が希望して全員が訪問医をかかりつけ医としている。地域医療として2名の医師の確保があり緊急時の対応もある。メディカルタウン内にある専門医の受信は職員が対応している。受信結果は家族に報告し情報共有している。また、看護師が利用者の日頃の体調管理を行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職、施設看護師と訪問看護ステーションが連携しご入居者様の健康管理を行っている。夜間も電話相談や状況により訪問していただき、在宅医とも連携しながらご入居者様やご家族様が安心して生活ができるように支援している。	介護職、施設看護師と訪問看護ステーションが連携しご入居者様の健康管理を行っている。夜間も電話相談や状況により訪問していただき、在宅医とも連携しながらご入居者様やご家族様が安心して生活ができるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	ご入居者様が入院した際の情報提供などは必ず行っている。また、面会やカンファレンスなどに出向き情報の把握に努めている。	ご入居者様が入院した際の情報提供などは必ず行っている。また、面会やカンファレンスなどに出向き情報の把握に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人様やご家族様の希望で在宅医や訪問看護、施設看護師、介護職と連携を取りながら看取りを行っている。施設で出来る事・出来ない事を十分に話し合い、ご本人様、ご家族様の意向を伺いながら対応している。また、看取りに関する職員研修も行い、ご入居者様やご家族様が安心して生活できるように取り組んでいる。	ご本人様やご家族様の希望で在宅医や訪問看護、施設看護師、介護職と連携を取りながら看取りを行っている。施設で出来る事・出来ない事を十分に話し合い、ご本人様、ご家族様の意向を伺いながら対応している。また、看取りに関する職員研修も行い、ご入居者様やご家族様が安心して生活できるように取り組んでいる。	入居時に重度化や終末期の対応について、事業所が対応できるケアについて説明を行い同意をもらっている。状況の変化に応じて利用者、家族等と話し合いの機会を作り、病院か事業所か意思を確認しながら取り組んでいる。看取り後に職員で話し合ったり、看取りの職員研修も行っている。また、看護師と一緒にエンゼルケアも行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	フロアー会議で急変時における対応の勉強会を行っている。また、消防署にお願いして定期的なAEDの使い方を教わっている。	フロアー会議で急変時における対応の勉強会を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、ご入居者様と職員で防災訓練を行っている。その際、消防署に立ち会いをお願いし意見を聞きながらご入居者様が安全に避難できるように訓練している。	年2回、ご入居者様と職員で防災訓練を行っている。その際、消防署に立ち会いをお願いし意見を聞きながらご入居者様が安全に避難できるように訓練している。	消防署立ち合いで、火災による避難誘導訓練を利用者と一緒に年2回実施している。消火訓練、AED、避難訓練を行い、防災担当が記録している。事業所独自でも、昼と夜間(想定)の火災を想定し、階段から担架で利用者を即すのにかかった時間を記録している。災害に備えた備品等の準備もしてある。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご入居者様は、認知症である前に長い人生を歩んでこられた先輩である事を十分に理解し、丁寧な声掛け対応を心掛けている。また、その方のペースに合わせたゆったりとした支援を心掛けている。	ご入居者様は、認知症である前に長い人生を歩んでこられた先輩である事を十分に理解し、丁寧な声掛け対応を心掛けている。また、その方のペースに合わせたゆったりとした支援を心掛けている。	利用者一人ひとりに合った言葉かけをするように心がけている。呼称についても家族に了解を得て、苗字ではなく利用者の反応が良い呼び方で対応している。居室やトイレ、浴室に入る時は、利用者の気持ちを配慮した声掛けをしている。また、自己決定しやすい言葉かけをするよう努めている。	

（様式1）

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム カーサ西八幡**

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(けやき)	ユニット名(さくら)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	まずはご本人に希望を伺っているが、希望が言えない方はご家族様に聞くなどし、なるべく希望に添った自己決定が出来るようにしている。	まずはご本人に希望を伺っているが、希望が言えない方はご家族様に聞くなどし、なるべく希望に添った自己決定が出来るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間や入浴の時間は決まっているが、それ以外にはご本人のペースに合わせた生活ができるようにしている。	食事の時間や入浴の時間は決まっているが、それ以外にはご本人のペースに合わせた生活ができるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の希望に添った服装、おしゃれが出来るように支援している	ご本人の希望に添った服装、おしゃれが出来るように支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嚥下困難な方もいるので状態に合わせてミキサー食にしたり、その方にあった形態で食事を提供している。また、テーブル拭きや食器拭きなど出来る事はなるべくしていただくようにしている。	嚥下困難な方もいるので状態に合わせてミキサー食にしたり、その方にあった形態で食事を提供している。また、テーブル拭きや食器拭きなど出来る事はなるべくしていただくようにしている。	宅配業者から栄養管理された副食が届き、汁物、ご飯は事業所で作っている。事前に1か月分の献立が届き、利用者の苦手な食物アレルギーの対応をしている。調理の必要が無いため買い物、調理の手伝いはしていないが、手作りおやつや飾り付けやテーブル拭き、トレ一拭き等出来ることをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は業者の栄養士が考えたバランスが良い食事を温めて提供している。嚥下の状態に合わせて食事の形態を変更し、ムセがなく食事できるように工夫している。水分摂取も確認を行い、少ない方には促したり、ゼリーを摂取していただいている。	献立は業者の栄養士が考えたバランスが良い食事を温めて提供している。嚥下の状態に合わせて食事の形態を変更し、ムセがなく食事できるように工夫している。水分摂取も確認を行い、少ない方には促したり、ゼリーを摂取していただいている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い出来ないところは介助しながら行っている。ご本人様やご家族様の希望があれば訪問歯科とも連携がとれるように支援している。	毎食後口腔ケアを行い出来ないところは介助しながら行っている。ご本人様やご家族様の希望があれば訪問歯科とも連携がとれるように支援している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェックシートを作成し、各ご入居者様の排泄パターンを把握しながら声掛け・トイレ誘導を行いたいべくトイレで排泄が出来るようにしている。	排泄チェックシートを作成し、各ご入居者様の排泄パターンを把握しながら声掛け・トイレ誘導を行いたいべくトイレで排泄が出来るようにしている。	排泄チェックシートを使用して、利用者に応じた対応を行い、トイレで排泄できるよう支援している。歩行困難な利用者の希望でおむつに頼ることはなく日中はポータブルトイレを使用し、夜のみおむつを使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の日課として歩行できる方は歩行訓練をしたり、車いすの方もできる方は立位訓練なども行い、なるべく自然排便が出るように努めている。水分摂取も把握し便秘の予防に努めているが、それでも便秘になる方は主治医と相談し、下剤等の処方をしていただいている。	日々の日課として歩行できる方は歩行訓練をしたり、車いすの方もできる方は立位訓練なども行い、なるべく自然排便が出るように努めている。水分摂取も把握し便秘の予防に努めているが、それでも便秘になる方は主治医と相談し、下剤等の処方をしていただいている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の時間だけは職員の配置が多い時間と決めているが、毎日入りたい方は毎日でも入浴可能となっている。	入浴の時間だけは職員の配置が多い時間と決めているが、毎日入りたい方は毎日でも入浴可能となっている。	毎日、入浴は可能である。午前中に入浴準備して週2回～3回入浴している。入浴を拒む利用者に対しては、時間等変えて入浴を試みている。シャンプー、リンス等好みの物を使っている利用者もいる。入浴剤を使い気分を変えて入浴支援を行っている。	

（様式1）

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム カーサ西八幡**

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価 (実践状況)		外部評価	
			ユニット名 (けやき)	ユニット名 (さくら)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は各個人の休みたい時間に休んでいた。眠れない方は落ち着くまで夜勤者と話をしたりしている。夜間不眠で日中に影響が出てしまうような方は主治医と相談させていただいている。	就寝時間は各個人の休みたい時間に休んでいた。眠れない方は落ち着くまで夜勤者と話をしたりしている。夜間不眠で日中に影響が出てしまうような方は主治医と相談させていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	何の薬を服用しているか各職員にしっかり把握してもらっている。また、看護師からその都度説明をしている。	何の薬を服用しているか各職員にしっかり把握してもらっている。また、看護師からその都度説明をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人様の好きな事は積極的に頑張って頂くようにしている。じっくり取り組めなかつたりすることが多いが励ましたり手伝ったりしながら支援している。	ご本人様の好きな事は積極的に頑張って頂くようにしている。じっくり取り組めなかつたりすることが多いが励ましたり手伝ったりしながら支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	なかなか自分から希望を言える方は少ないが、歩行状況を見ながら公園まで散歩をし、車いすの方も外気浴ができるように支援している。また、お花見・紅葉見学・外出レクなど覚ご入居者様の体調を考慮しながらできるだけ皆で出かけるようにしている。	なかなか自分から希望を言える方は少ないが、歩行状況を見ながら公園まで散歩をし、車いすの方も外気浴ができるように支援している。また、お花見・紅葉見学・外出レクなど覚ご入居者様の体調を考慮しながらできるだけ皆で出かけるようにしている。	日常的には、近くの公園への散歩や屋内に閉じこもることの無いよう短時間でも玄関に出て外気浴をするようにしている。車いすの利用者も職員と一緒に利用者が押して出掛けている。お花見や紅葉見学等普段は行けないような場所には、レンタカーを借りて全員で外出できるよう支援している。また、家族にも呼びかけ現地集合で参加できるようにしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には事務管理にさせていただいているが、少額ならご本人様が管理されている方もいる。買い物に行きたいと意向があれば付き添いを行い支援している。	基本的には事務管理にさせていただいているが、少額ならご本人様が管理されている方もいる。買い物に行きたいと意向があれば付き添いを行い支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話・手紙の希望があればいつでも支援している。	電話・手紙の希望があればいつでも支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースには季節感のある装飾をし、室温も適温になるように気を付けている。また、車いすのご入居者様もいるため通路には進行を妨げる物は置かないようにしている。	共有スペースには季節感のある装飾をし、室温も適温になるように気を付けている。また、車いすのご入居者様もいるため通路には進行を妨げる物は置かないようにしている。	1階と2階の2ユニットで同じ作りになっている。キッチンが中心にあり、テーブル、ソファが置かれゆったりくつろぐことができ居心地の良い場所になっている。畳のスペースもあり職員の休憩場所にもなっていて、利用者と一緒に過ごしている。共用の場所には、行事や外出時の写真、季節感を採り入れた飾りをして季節を感じられる様にしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースには1人になれる空間はないが、フロア以外にも所々にソファが設置してあるので、仲が良い方同士が話をしたり職員と話をしたり思い思いに過ごせるように工夫している。	共有スペースには1人になれる空間はないが、フロア以外にも所々にソファが設置してあるので、仲が良い方同士が話をしたり職員と話をしたり思い思いに過ごせるように工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	クローゼットやベッドは備え付けてあるが、自宅で使用していた物を持ち込んでいただき、自宅と同じような雰囲気でも過ごしていただけるようにしている。	クローゼットやベッドは備え付けてあるが、自宅で使用していた物を持ち込んでいただき、自宅と同じような雰囲気でも過ごしていただけるようにしている。	フローリングの居室で、ベッド、テーブル、クローゼット、洗面台、エアコン、カーテンが備えてある。自宅で使用していた桐のタンスや仏壇、テレビ、写真等を持ち込み配置して、それぞれの利用者の居室として居心地よく過ごせるようになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設には防犯のためと方が一の時に備えて防犯カメラが設置されている。フロアや居室はバリアフリーとなっており、自由に行き来することが可能。また、カメラに頼ることなく見守りを重視しながらご入居者様が安全に生活できるように心掛けている。	施設には防犯のためと方が一の時に備えて防犯カメラが設置されている。フロアや居室はバリアフリーとなっており、自由に行き来することが可能。また、カメラに頼ることなく見守りを重視しながらご入居者様が安全に生活できるように心掛けている。		